

1 図画工作における教育課程実施上の課題と指導上の留意事項

(1) 教科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。

◇「感性を働かせながら」＝視覚や触覚などの様々な感覚を働かせ、自らの能動的な行為を通して、形や色、イメージをとらえている。これを手掛かりに児童は発想したり、技能を活用したりしながら、自他と社会と交流し、主体的に表現したり、よさや美しさを感じ取ったりしている。このような児童の感覚や感じ方、表現の思いなどを、大切に十分に働かせることを示している。

◇「造形的な創造活動」＝自分の思いを形や色などで表したり、よさや美しさを感じ取ったりすること

◇「基礎的な能力」＝造形的な創造活動を実現させるために必要な能力

→発想や構想、創造的な技能、鑑賞の能力

発想や構想 形や色、イメージなどを基に、想像したり、表すことを考えたり、計画をたてたりする能力

創造的な技能 材料や用具を用いたり、表現方法をつくりだしたり、自分の思いを具体的に表現する能力

鑑賞の能力 作品をつくったり見たりするときに働いているよさや美しさを感じ取る能力

これらの能力に関連して造形への関心や意欲・態度を育てていく

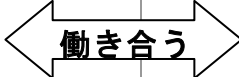
※「つくりだす喜び」＝つくること自体の喜びとともに、自分にとって価値あるものをつくり出す喜び

※「豊かな情操を養う」＝よりよく生きるための豊かな人間性を育む（教科では図画工作と音楽のみ）

(2) 各学年の目標

支える

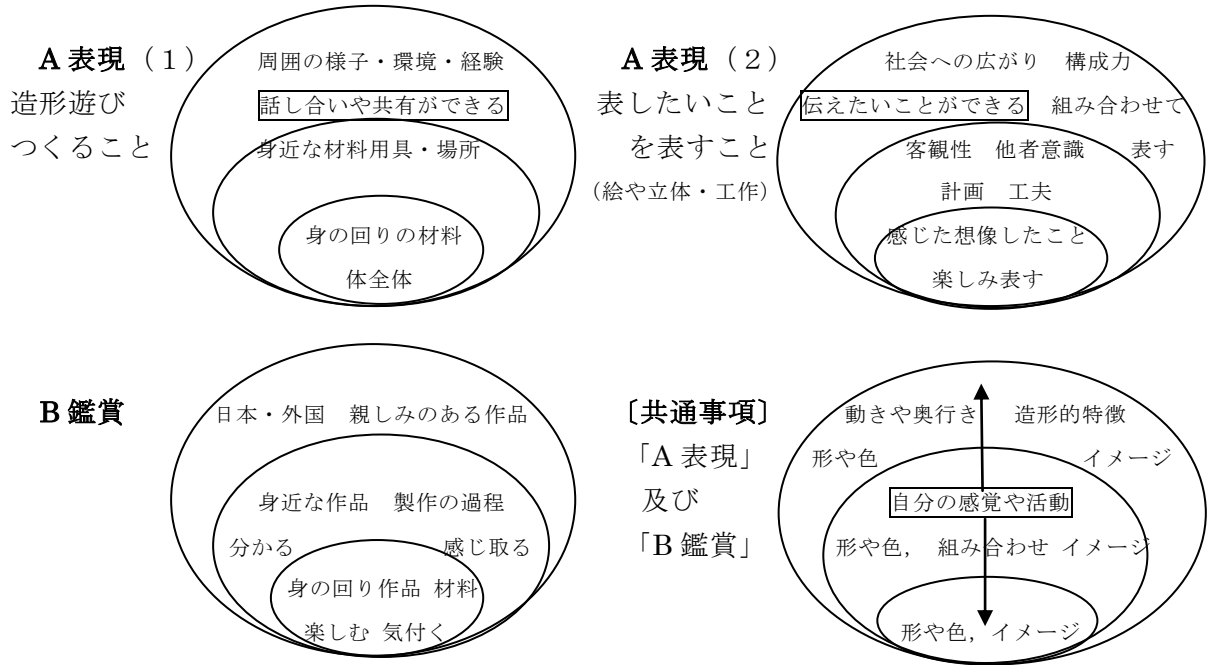
	表現及び鑑賞の活動において児童の造形への関心や意欲、態度の育成とつくりだす喜びに関する目標	発想や構想、創造的な技能などの造形的な能力を高めることに関する目標	作品などから楽しさ、面白さ、よさ、美しさを感じ取る鑑賞の能力を高めることに関する目標
低学年	(1) <u>進んで表したり見たりする態度</u> を育てるとともに、 <u>つくりだす喜びを味わうようにする</u> 。	(2) <u>造形活動を楽しみ</u> 、 <u>豊かな発想</u> をするなどして、 <u>体全体の感覚や技能を働かせるようにする</u> 。	(3) <u>身の回りの作品</u> などから、 <u>面白さや楽しさ</u> を感じ取るようにする。
中学年	(1) <u>進んで表現したり鑑賞したりする態度</u> を育てるとともに、 <u>つくりだす喜びを味わうようにする</u> 。	(2) 材料などから <u>豊かな発想</u> をし、 <u>手や体を十分に働かせ</u> 、 <u>表し方を工夫し</u> 、 <u>造形的な能力を伸ばすようにする</u> 。	(3) <u>身近にある作品</u> などから、 <u>よさや面白さ</u> を感じ取るようにする。
高学年	(1) <u>創造的に表現したり鑑賞したりする態度</u> を育てるとともに、 <u>つくりだす喜びを味わうようにする</u> 。	(2) 材料などの特徴をとらえ、 <u>想像力を働かせて発想</u> し、 <u>主題の表し方を構想</u> するとともに、 <u>様々な表し方を工夫し</u> 、 <u>造形的な能力を高めるようにする</u> 。	(3) <u>親しみのある作品</u> などから、 <u>よさや美しさ</u> を感じ取るとともに、 <u>それらを大切に</u> するようにする。



小学校 図画工作

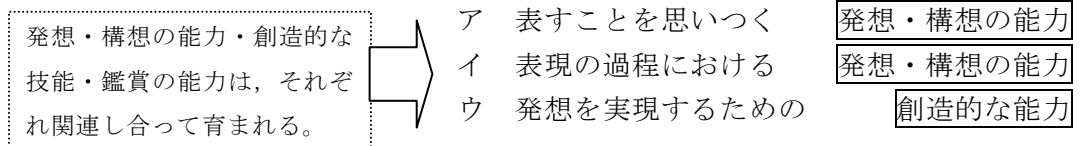
※ 各学年の三つの目標の関係は、(1)が(2)と(3)を支え、(2)と(3)が互いに働き合う関係である。目標の実現に当たっては、それぞれを相互に関連させながら造形的な創造活動の能力の育成を図る必要がある。

(3) 発達段階に応じた内容の広がり



(4) 発想や構想の能力と鑑賞の能力の育成における課題

① 学年の目標及び内容の制作の連続的な過程 (ア→イ→ウ) (学習指導要領解説 P78～ P79 など)



※ 材料を触り、場所をじっくりと味わい探して思いつくこともあるが、注意しなければならないのは、発想や構想をさせることは指導事項であり、工夫や手立てが必要なことである。

※ 図画工作の活動では、発想・構想の能力や創造的な能力、鑑賞の能力が関連し合って進んでいく。そのため、学習過程において、どの能力が一番働いてほしい時なのかを見極め、評価につなげていくことが大切である。

② 「見通す・振り返る学習活動」として事例紹介 (初等教育資料 平成 26 年 4 月号・別紙参照)

◇ 「おいでよ! アイスの森」 A 表現(1) 造形遊び

「見通す」活動で～児童が自分の学習活動を自覚する導入の工夫

「振り返る」活動で～ 教師の共通事項を踏まえ、児童同士をつなげる問いかけ

③ 「発想や構想の能力と鑑賞の能力の育成」として事例紹介

(初等教育資料 平成 26 年 6 月号・別紙参照)

◇ 「ゆらゆら ぱくぱく」 A 表現(2) 工作

しばらく仕組みを動かし思い付いてつくり始める児童(立ち止まって考える児童)と、教師の手立てから思い付いてつくる児童(行き詰って困っている児童)の様子。そして、つくった作品を動かしながらか見せ合い話し合い、よさや面白さを感じ取る様子。